

2022年7月8日

VLP Therapeutics Japan 合同会社

AMED ワクチン・新規モダリティ研究開発事業： 重点感染症等に対する感染症ワクチンの開発の採択について

VLP Therapeutics Japan 合同会社（本社：東京都千代田区、代表職務執行者：赤畑渉、以下「VLPT ジャパン」または「当社」）は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）先進的研究開発戦略センター（SCARDA）による公募「ワクチン・新規モダリティ研究開発事業（一般公募）」の課題「重点感染症等に対する感染症ワクチンの開発（次のパンデミックを見据えたコロナウイルス感染症を対象とするものに限る）」に、6月29日付けで採択されました¹。当社の採択課題名は「レプリコンプラットフォームテクノロジーを用いた今後出現する株を含めたユニバーサルコロナワクチン開発」です。

当社は本開発において、これまでの非臨床・臨床試験で得られた知見を活かして当社保有の自己増殖 RNA（レプリコン）技術を改良し、次のパンデミックへの備えとなるユニバーサル型ワクチンを作ることを目指します。当社のレプリコン技術は、改変が容易で迅速に製造ができる従来の核酸（DNA、mRNA）技術の利点を有しつつ、より少ない接種量で十分な効果を示す安全なワクチンの創出に資することが期待されます。この基盤技術を用いて、当社は今後出現する（予測される）株を抗原とするユニバーサル型ワクチンを開発し、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）だけでなく未知のコロナウイルス（SARS-CoV-3）にも対応することを計画しています。

本研究開発は、AMED による支援のもと、医薬基盤・健康・栄養研究所（山本拓也 ワクチン・アジュバント研究センター 免疫老化プロジェクトリーダー）、国立病院機構名古屋医療センター（岩谷靖雅 臨床研究センター 感染・免疫研究部長）及び北海道大学（福原崇介 医学研究院 微生物学免疫学分野 教授）と協力して行われます。

1. AMED：公募情報「ワクチン・新規モダリティ研究開発事業（一般公募）」の採択課題について（2022/6/30 掲載） https://www.amed.go.jp/koubo/21/02/2102C_00004.html

◆ VLPセラピューティクス・ジャパン（VLPTジャパン）について [https://vlptherapeutics.co.jp/]

VLP Therapeutics Japan 合同会社（本社：東京都千代田区、代表職務執行者：赤畑渉）は2020年、米国 VLP Therapeutics, Inc. の100%子会社として設立されました。2022年現在、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）及び厚生労働省の支援のもと国産コロナワクチンの研究開発・臨床試験を進めています。

◆ VLPセラピューティクス (VLPT) について

[<https://vlptherapeutics.com/>]

VLP Therapeutics, Inc. (本社：米国メリーランド州ゲイサースバーグ、CEO：赤畑渉) は2013年、世界の「満たされていないメディカル・ニーズ」に応え、従来のワクチン療法を一変する革新的な治療法を開発するため、赤畑渉が上野隆司博士、久能祐子博士らと設立しました。2021年現在、がんに対する治療ワクチンと、マラリア、デング熱等感染症に対する予防ワクチンの研究開発を進めています。

【問合せ先】

VLP セラピューティクス国際広報・IR 部長

飯島 由多加 Email: info@vlptherapeutics.co.jp